

「平成 28 年度武道等指導充実・資質向上支援事業」(スポーツ庁委託事業)

## 愛媛県中学校武道地域連携事業

### 実践事例集



【今治市立西中学校】



【伊予市立伊予中学校】



【八幡浜市立双岩中学校】



【四国中央市立三島西中学校】



【西条市立東予西中学校】



【松山市立垣生中学校】



【松山市立旭中学校】



【松山市立北条南中学校】



【松山市立高浜中学校】



【松山市立道後中学校】



【松山市立北中学校】



【松山市立東中学校】



【松山市立北条北中学校】



【松山市立桑原中学校】



【松山市立椿中学校】



【松前町立松前中学校】



【大洲市立河辺中学校】



【八幡浜市立双岩中学校】

平成 29 年 3 月

愛媛県教育委員会

# も く じ

I	はじめに	P 1
II	実践事例	
1	武道・ダンス等指導研修会	P 2
2	武道・ダンス等授業づくり研究会	
	(1) 今治市立西中学校	P 4
	(2) 伊予市立伊予中学校	P 18
	(3) 八幡浜市立双岩中学校	P 32
3	地域連携指導実践校（外部指導者派遣：15校）	P 51
	○四国中央市立三島西中学校	P 52
	○西条市立東予西中学校	P 54
	○松山市立垣生中学校	P 56
	○松山市立旭中学校	P 58
	○松山市立北条南中学校	P 60
	○松山市立高浜中学校	P 62
	○松山市立道後中学校	P 64
	○松山市立北中学校	P 66
	○松山市立東中学校	P 68
	○松山市立北条北中学校	P 70
	○松山市立桑原中学校	P 72
	○松山市立椿中学校	P 74
	○松前町立松前中学校	P 76
	○大洲市立河辺中学校	P 78
	○八幡浜市立双岩中学校	P 80



## I はじめに

本事例集は、スポーツ庁「武道等指導充実・資質向上支援事業」の委託を受け、本県「中学校武道地域連携事業」において実践した内容をまとめたものです。

本事業では、『武道・ダンス等授業づくり研究会』を3地域において開催し、保健体育授業の指導充実にに向けた研究を実施するとともに、『地域連携指導実践校（外部指導者派遣）』を県内の指定校において開催し、地域の優秀な外部指導者と連携した授業の在り方を提案したところです。

この実践を、各学校で参考にしていただき、保健体育科学習の指導充実・資質向上が図られることを願っています。

愛媛県教育委員会 保健体育課



### 武道等指導推進委員会委員

第1回 平成28年9月9日（金）於：愛媛県武道館

第2回 平成29年2月10日（木）於：にぎたつ会館

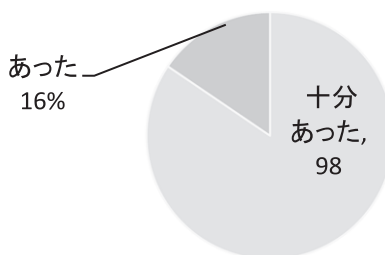
（50音順）

浅山 貢	伊予市立伊予中学校 校長
大澤 真浩	今治市立西中学校 校長
木野 昭美	愛媛県なぎなた連盟 理事長
河野 敏男	八幡浜市立双岩中学校 校長
樗木 武治	松山大学法学部 准教授
俊野 徹人	愛媛県剣道連盟 理事長
日野 克博【委員長】	愛媛大学教育学部 准教授
松岡 誠一郎	愛媛県中学校体育連盟 会長
三浦 茂樹【副委員長】	愛媛県総合教育センター 指導主事
山口 奈美	愛媛県柔道協会 理事長
横田 潔	愛媛県スポーツ振興事業団 副理事長 （愛媛県武道館 館長）

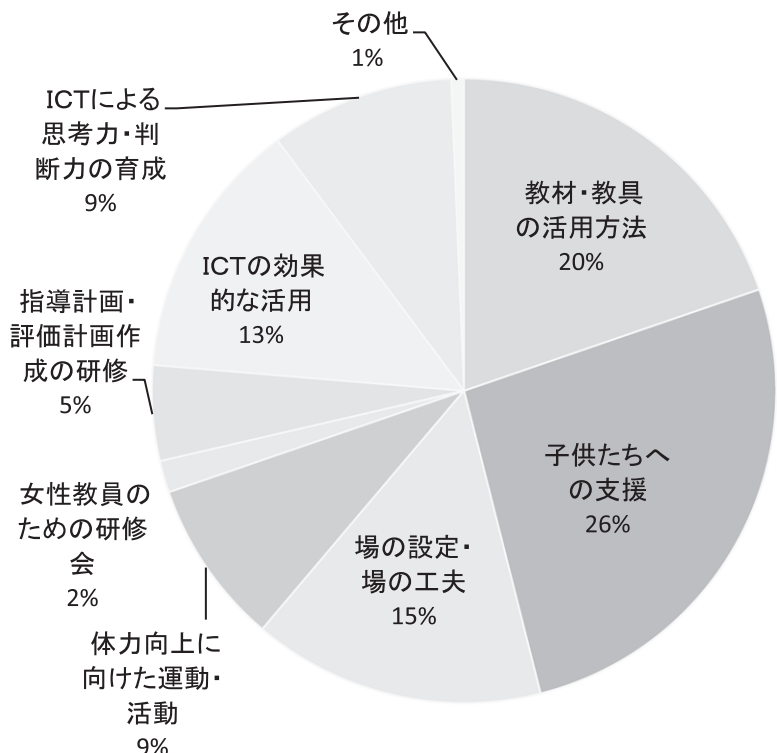
## Ⅱ 実践事例 1 『武道・ダンス等指導研修会』

期 日	平成28年8月10日（水）
場 所	愛媛県武道館
参加者	中学校（高等学校） 教職員130名
内 容 講 師	<p>(1) 全体研修会（全員参加：会場 大会議室）</p> <p>ア 実践発表：平成27年度武道・ダンス授業づくり研究会（剣道） 『簡易竹刀を用いて攻防の楽しさを味わわせる授業』 発表者：西条市立東予東中学校 教諭 松本 智子</p> <p>イ 講義：『保健体育科の授業づくり』 講師：愛媛大学教育学部 准教授 日野 克博</p> <p>(2) 実技研修会（選択制：各会場）</p> <p>ア 柔道「段階的な指導の工夫」 講師：東京都杉並区立和田中学校 校長 (公財)全日本柔道連盟 教育普及委員 田中 裕之</p> <p>イ 剣道「思考力・判断力・表現力等の育成を目指した剣道の授業」 ～相手の構えを崩して一本を取る醍醐味を味わう～ 講師：流通経済大学スポーツ健康科学部 教授 柴田 一浩</p> <p>ウ ダンス「弾んで踊ろう！共に創ろう！」 ～生徒主体の授業展開の工夫～ 講師：山梨県立大学人間福祉学部人間形成学科 教授 高野 牧子</p> <p>エ 体づくり運動・保健</p> <p>(ア) 体づくり運動「心も体もウキウキ・モリモリ」 講師：宮崎県教育庁スポーツ指導センター指導主事 西田 浩司</p> <p>(イ) 保健 講師：愛媛県教育委員会保健体育課 指導主事 中矢 丈士</p>

保健体育の授業や学校での運動・スポーツ活動の指導に生かせる内容があったか。





希望する研修内容等は、何か。






## Ⅱ 実践事例 2 『武道・ダンス等授業づくり研究会』

東予：ダンス		
会 場	今治市立西中学校	
授業者	教諭 青井 久美子	
助言者	愛媛大学教育学部 准教授 日野 克博	
参加者	小学校関係者6名、中学校関係者44名、 高校関係者1名 合計51名	
内 容	1年生女子【フォークダンス】 ○ドードレブスカ・ポルカの踊り方に、アレンジした動きを加えて踊る。 ○評価基準（ループリック）に基づいた評価を行う。	

中予：武道（柔道）		
会 場	伊予市立伊予中学校	
授業者	教諭 青野 藤壽	
助言者	松山大学法学部 准教授 樗木 武治	
参加者	小学校関係者2名、中学校関係者28名 合計30名	
内 容	1年生男女【受け身】 ○「取」の崩しや体さばきに対応して、受け身を行う。 ○安全に配慮したコントロールの仕方を身に付ける。	

南予：武道（剣道）		
会 場	八幡浜市立双岩中学校	
授業者	教諭 伊東 伸也	
助言者	流通経済大学スポーツ健康科学部 教授 柴田 一浩	
参加者	小学校関係者1名、中学校関係者29名、 剣道連盟関係者13名 合計43名	
内 容	3年生男女【応じ技】 ○「面」に対する応じ技を身に付ける。 ○教材教具の工夫（簡易竹刀を用いて）を行う。	

### 【武道ダンス授業づくり研究会 WG委員】

ダンス：今治市立大西中学校	渡辺 八重	今治市立立花中学校	森田 美由紀
柔道：砥部町立砥部中学校	仲田 昌司	松山市立西中学校	田中 貴志
剣道：八幡浜市立愛宕中学校	三好 志伸	内子町立小田中学校	嶋家 健市

日時 平成28年10月26日(水) 13:30～14:20  
場所 体育館  
単元名 ダンス(フォークダンス)

## 1 単元目標

- (1) 踊り方の特徴をとらえ、音楽に合わせて特徴的なステップや動きで踊ることができるようにする。【技能】
- (2) ダンスに積極的に取り組むとともに、互いのよさを認めようとすることや、分担した役割を果たそうとすることなどや、健康・安全に気を配ることができるようにする。【態度】
- (3) フォークダンスの特性や踊りの由来、表現の仕方、関連して高まる体力、交流や発表の仕方などを理解し、課題に応じた運動の取り組み方を工夫ができるようにする。【知識、思考・判断】

## 2 指導観

### (1) 生徒について

1年4・5組(38名)は、運動部に所属している生徒が多く意欲的に活動する反面、体を動かすことが苦手な生徒もいる。本校は、ダンスを習っている生徒が数人おり、3年時の運動会では、3年生がフォークダンスを踊るのが伝統となっている。その様子を見て、自分たちも早く踊りたいという憧れをもつ1、2年生も多い。1年生にダンスに関するアンケート調査を実施したところ、ダンスが好きだという生徒は80%おり、ダンスを習っていた生徒も39%いるため、ダンスへの興味・関心は高いと感じられる。「どんな種類のダンスをやりたいか」という質問では、現代的なリズムのダンスに次いで、フォークダンスをやりたいと感じている生徒が71%と多い。一方で踊っている姿を見られるのが恥ずかしいとか、リズム感がないからという理由でダンスに対して不安な気持ちをもっている生徒もいる。

ダンスの単元の中でフォークダンスを取り上げ、伝承されてきた踊りに創作的要素を取り入れ、仲間と交流しながら踊ることで、ダンスが楽しいと感じる生徒が増えてくるのではないかと予想される。

### (2) 題材について

ダンスは、創作ダンス、フォークダンス、現代的なリズムのダンスで構成されている。フォークダンスは、踊りの特徴を捉え、音楽に合わせて特徴的なステップや動きと組み方で踊ることができ、みんなで交流を楽しむことができる運動である。外国のフォークダンスでは、代表的な曲目を選んで、踊り方の難易度を考慮し、様々な国や地域の踊りを取り上げ、その特徴を捉えて楽しく踊ることができる。ドードレブスカ・ポルカは隊形が変化する踊りで、滑らかなステップやターンなどの動きを使って仲間とのコミュニケーションを楽しむことができる踊りである。

## (3) 指導について

今回は、フォークダンスを取り上げ、様々な国や地域の踊りの特徴や魅力に触れながらじっくり学習に取り組んでいき、できるだけ多くのフォークダンスに触れるために、単元の導入段階では、小学校での既習の踊りを踊る時間を設定した。各国のフォークダンスの特徴的なステップを理解し、単元全体を通して、みんなで踊って交流して楽しむことができるようにしたい。

また、ドードレブスカ・ポルカの伝統や由来、ステップの意味などを理解し、踊り方の特徴を捉えて踊ることで一層その楽しさが深まるようにしたい。さらに、本来のフォークダンスの踊りの中にアレンジした動きを加えたり、衣装を工夫したりして、一つの作品を作り上げることが、よりダンスの楽しさを味わうことにつながると考える。

本時は、指導の8時間目にあたり、グループでのドードレブスカ・ポルカのアレンジ版の発表会である。グループのみんなで踊って楽しむことのできる授業を展開したいと考えている。

## 3 単元の評価規準（学習活動に即した評価規準）

関心・意欲・態度	思考・判断	運動の技能	知識・理解
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ダンスの学習に積極的に取り組もうとしている。</li> <li>・互いのよさを認め合おうとしている。</li> <li>・分担した役割を果たそうとしている。</li> <li>・仲間の学習を援助しようとしている。</li> <li>・健康・安全に留意している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の興味や関心に合ったテーマや踊りを設定している。</li> <li>・課題に応じた練習方法を選んでいる。</li> <li>・発表の場面で、仲間のよい動きや表現などを指摘している。</li> <li>・学習した安全上の留意点を仲間と学習する場面に当てはめている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・踊り方の特徴を捉え、音楽に合わせて特徴的なステップや動きで踊るための動きができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ダンスの特性について、学習した具体例を挙げている。</li> <li>・踊りの由来について、学習した具体例を挙げている。</li> <li>・表現の仕方について、学習した具体例を挙げている。</li> <li>・ダンスに関連して高まる体力について、学習した具体例を挙げている。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>① ダンスの学習に積極的に取り組み、健康・安全に留意している。</li> <li>② 小集団の活動において自己の責任を果たそうとしている。</li> <li>③ 互いの個性や表現を認め合って、誰とでも楽しく踊ることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 発表や練習の場面で、仲間の良い動きや表現などを指摘している。</li> <li>② フォークダンスの踊りの特徴を捉え、アレンジした動きや構成を考えようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 音楽に合わせて、特徴的なステップや動きで踊ることができる。</li> <li>② 特徴的なステップをアレンジして曲に合わせて踊ることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① ダンスの特徴や表現の仕方について学習した内容を理解している。</li> <li>② 踊りの由来について学習カードに書き出し、学習した具体例を挙げている。</li> </ul>

#### 4 単元の指導計画と評価計画

時間	ねらい	学習の流れ	学習活動に即した評価規準			
			関・意・態	思考・判断	技能	知識・理解
1	○ 単元の学習内容を知り、学習の見通しをもつ。	○ オリエンテーションを行う。 ・学習の進め方、小学校の履修内容の確認 ・ウォーミングアップの方法 ・ウォーミングアップのダンスを踊る。 (ジェンカ・マイムマイム) ・健康・安全に関する留意点	①(観察)		①(観察)	
2・3	○ ドードレブスカ・ポルカの踊りを覚えて楽しく踊る。	○ 振り付けを学ぶ。 ○ 基本のステップを覚えて曲の特徴を生かして踊る。	②(観察)		①(観察)	①(ワークシート)
4	○ 調べ学習を行う。	○ ドードレブスカ・ポルカの伝統、由来、ステップ意味などを学習する。				②(ワークシート)
5 ～ 7	○ ドードレブスカ・ポルカの踊りにアレンジした動きを加えて、楽しく踊る。	○ グループのテーマに合わせて、ステップや隊形を工夫してオリジナルダンスをつくる。 ○ 仲間と互いに教え合っ て練習する。 ○ 踊り込みを行い、動きの手直しをする。 ○ 衣装の工夫をする。 ○ 発表の手順を確認する。	①② (観察)	①② (観察)	②(観察)	
8・9 (本時8)	○ 他の班のダンスのよいところを見つける。	○ 発表会に向け、踊り込みを行う。 ○ 発表会を行う。 ○ 鑑賞会を行う。		①(観察)  ②(ワークシート)	②(観察)	①(ワークシート)

#### 5 本時の指導 (8/9)

##### (1) 目標

- ドードレブスカ・ポルカの踊り方の特徴を捉え、アレンジした動きを加えて、踊ることができる。(技能)
- 評価基準(ルーブリック)に基づいて、グループの評価を行うことができる。(思考・判断)

##### (2) 準備

CD、CDプレイヤー、学習カード、世界地図